

「第13回中和のがん撲滅を目指す会 ～ストップ・ザ・大腸がん～」

「中和医療圏で、がんが原因で亡くなる人をなくそう」と、市立病院が医師会や保健センターと協力して開催してきた「中和のがん撲滅を目指す会」が、第13回目を迎えます。本年度から、薬剤師会も加わり、本会の広がり、より大きくなりました。

この会は、胃がん、大腸がん、肝臓がん、乳がん、肺がんなどの5大がんや遺伝性のがんなど、さまざまなテーマに取り組み、院内外の専門家を呼んで、皆さんにそれぞれのがんについて、正しい知識を持ってもらうことによって、自分や家族をがんから守ることをめざしています。

今回のテーマは、大腸がんです。大腸がんは食生活の欧米化した日本では増加傾向にあり、男女合わせて、がんの中で、死亡者数・罹患者数とも、2番目に多いがんです。現在では、さまざまながんが遺伝子に関連して発生することはよく知られていますが、がんの治療薬も、遺伝子に関わる「分子標的薬」が急速に増えています。その中で、大腸がんは、がんの原因となる遺伝子異常が早くから解明されているがんで、治療薬にも早くから多くの分子標的薬が用いられてきました。

以前では、根治が不可能と考えられた多発性肝転移の患者さんも、薬物治療や手術を組み合わせ、根治可能となるケースが増えています。

しかし、やはり予防にまさる治療はありません。第一次予防となる生活習慣の改善や第二次予防となる早期発見の重要性は、いつの時代も変わりありません。3月3日の会で、予防について勉強しましょう。

また最近では、単にがんを治すだけでなく、「治療による長期の副作用や身体の障がいはいかに軽減できるか」も、大きな問題です。さらに、若いがん患者さんの就労の問題、遺伝性のがんについての啓発、高騰するがんの治療費の捻出など、がん患者さんの抱える問題も多様化しています。

ぜひとも本会に参加し、大腸がんについて正しい知識を持つことによって、自分や家族を大腸がんから守りましょう。

● 2016年の死亡数が多い部位

	1位	2位	3位	4位	5位
男性	肺	胃	大腸	肝臓	膵臓
女性	大腸	肺	膵臓	胃	乳房
男女計	肺	大腸	胃	膵臓	肝臓

元データ:人口動態統計によるがん死亡データ

● 2013年の罹患者数(全国推計値)が多い部位

	1位	2位	3位	4位	5位
男性	胃	肺	大腸	前立腺	肝臓
女性	乳房	大腸	胃	肺	子宮
男女計	胃	大腸	肺	乳房	前立腺

元データ:地域がん登録全国推計によるがん罹患者データ